

高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会の目的は



宮田 好夫議員
ここをききました
・防災・減災について
・旧「ゆ・ら・ら」施設について

防災・減災について

宮田 「高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」の目的と構成団体は。
政策監 この会は、河川が氾濫した時の被害の軽減を目的に、国や県の関係機関と高梁川水系の各市で構成されている。

小規模農地災害について

宮田 小規模な修繕等に補助はできないか。
市長 災害規模が40万円未満のものは国の補助対象にならないので、市としての対応が必要と考える。

防災ラジオについて

宮田 防災ラジオの受け付けはいつまでか。
政策監 今年度の秋に全地域対象に再受け付けを行う。最終は来年度までと考えている。

News

岡山市議会議長会総会を 高梁市で開催



5月23日、県内15市議会の正副議長ら約50人が出席し、岡山市議会議長会総会が高梁市で開催された。
総会では中国市議会議長会総会に提出する議題について話し合われました。なお、決定した議案は次の3件です。
①西日本豪雨災害の復旧・復興支援対策で、堤防の整備や河川の

しゅんせつと治水対策を推進すること

大雨が予想される際のダムと河川の適切な管理運営について十分な検討を行うこと。被災住宅用地にかかる固定資産税の軽減措置を延長すること。そして仮設住宅から仮設住宅の転居について弾力的な運用を求めることについて国へ要望すること。

併処理浄化槽整備にかかる交付金を継続することについて

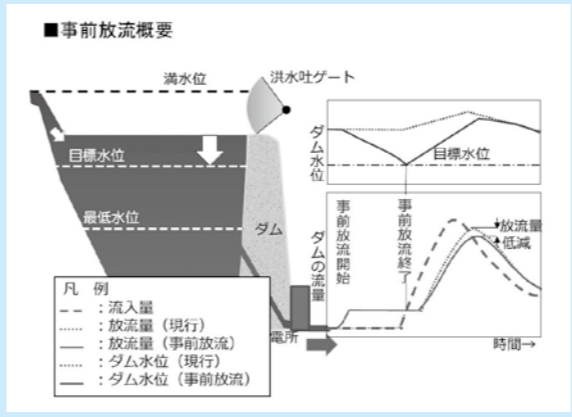
③大規模な太陽光発電に関わる法的規制の整備を求めることについて。
また、各市議会が発行する議会広報誌のコンテストを開催することが提案され、今後検討をしておくことを申し合わせました。
今回は玉野市で開催されます。

News

新成羽川ダム事前放流説明会

中国電力の担当者を議会に招いて、事前放流について詳細な説明を受けました

昨年7月の西日本豪雨災害後の検証作業におけるポイントの1つはダム操作に関することです。河本ダムのように岡山県管理下のダムは治水機能を有していることから事前放流を行っていましたが、新成羽川ダムは発電や工業用水確保のための利水ダムであることから事前放流をすることはありませんでした。しかし、新成羽川ダムの貯水量は高梁川水系のダム全体の6割を占めており、事前放流による減災や避難時間の確保ができるのではないかとということから、高梁市を含む高梁川流域自治体4市から中国電力株式会社に対して要望がなされていきました。
今後は気象予測により洪水が予測される場合、1時間以上前に行政機関等へ通知をし、サイレン吹鳴や警告車による巡回警告の後、目標水位まで低下させるために事前放流を行います。しかし、事前放流には限界があり、川の氾濫を防ぐことができるわけではないので自治体からの避難勧告などの指示に従った適切な行動が必要であることなどの説明がありました。
※事前放流により1100万トンの空き容量が確保できます。しかし、昨年の7月豪雨時には新成羽川ダムの有効貯水量の8050万トンの2・3倍の水がダムに流入しました。



HELLO

行政視察受け入れ

5月15日
兵庫県淡路市議会議員(会派)一行6名が行政視察のため来高
視察内容
『豪雨復興の現状について』

5月16日
大阪府茨木市議会総務常任委員会一行7名が行政視察のため来高
視察内容
①防災ラジオ整備事業について
②高梁市の魅力を発信する高梁istについて

5月20日
和歌山県御坊市議会産業厚生常任委員会一行7名が行政視察のため来高
視察内容
『子育て支援の取り組み及び推進について』